

平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	再チャレンジする女性のためのコンピテンシー強化講座の実施と展開		
法人名	社団法人 全国経理教育協会		
学校名			
代表者	理事長 菅原 一博	担当者 連絡先	藤 修文 03-3918-6131
<p>1. 事業の概要</p> <p>男女共同参画を踏まえ、結婚・出産・育児などの事由によって一時的に離職していた、再就職を目指す女性および今後の就職に備えスキルアップしたい女性を対象に、在職時の業務レベルを下げることなく、むしろビジネスコンピテンシーを強化した上で職に復帰することを可能にする教育プログラムを開発・実施することを目指した。</p> <p>教育プログラムは、事前学習(自己学習形式)、集合学習、補完学習の3部構成とし、中心となる集合学習では、休職していたことによって能力の減衰が懸念されるITやビジネスマナーの基礎的知識を学習するとともに、ビジネスコンピテンシーを強化するために必要な「問題解決スキル」のベース知識、コミュニケーション、リーダーシップ、ネゴシエーション、ファシリテーションといった要素コンピテンシーを強化するためにグループ形式の学習を行った。</p> <p>東京、札幌、仙台の3都市にて実施することとし、豊島区の後援やマザーズハローワークの協力を得て募集活動を推進した結果、55名(東京23名、札幌10名、仙台22名)が受講することとなった。</p> <p>講座終了後は、実施状況を取りまとめるとともに、当協会の役員、会員、講座の講師を対象とした成果に関する報告会を行い、事業の取組の普及を図った。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>受講者アンケートの結果から、ほぼ全ての受講者が今回の受講内容が「今後の役に立つ」と回答し、大半の受講者が「満足した」と回答していることから、本事業のプログラム内容が受講者の求める水準と一致していたことがわかる。</p> <p>対象が再就職を目指す女性であったことも考えると、非常に有効な講座内容であったといえる。</p> <p>②事業により得られた成果</p>			

事前学習、集合学習、補完学習の3部構成とした。

事前学習では、基本的な実務能力(ビジネスマナー)、基本的な実務知識(簿記)、文書作成(Word)、表計算(Excel)、プレゼンテーション(PowerPoint)に関する学習を義務付けた。

集合学習は、全4回(各6時間)の講座を開催した。

「好感度アップを目指すマナー術」では、立ち居振る舞い、話し方、電話応対、来客応対、など社会人として必要とされる基本的なビジネスマナーについて学ぶこととした。

「ネットワーク作りのパソコン活用法」では、Wordを利用したビジネス文書作成、Excelを利用した見積書作成など、ビジネスで必要とされる基本的なIT知識やスキルについて実際にパソコンを使用し学習することとした。

「コミュニケーション力、問題解決力と調整力」では、個人ワークやグループワークで課題に取り組むことを通じて、グループ内でのコミュニケーションや問題解決を体験してもらう内容とした。

「働くための知恵と工夫・よい人間関係を築くコツ」では、一分間スピーチを通じて自己PRの仕方や表現の工夫を、グループワークを通じてプレゼンテーションの方法を学ばせることとした。さらに、講師の体験談を交え、再チャレンジへの意欲を高めることも行った。

補完学習では、受講者間で情報交換や講座に関する質問、意見交換ができるよう、地域ごとに掲示板(フォーラム)およびブログをインターネット上に設けた。

講座終了後に実施したアンケート結果から、ほとんどの受講者が「今後の役に立つ内容であった」と回答しており、満足度も高かった。再就職を目指す女性から評価される教育プログラムを実施できたことは、大きな成果であるといえよう。

これらの講座を東京、札幌、仙台で無事開催でき、各所と連携して本講座の開催を周知できたことは、本事業の普及促進の一助となったといえる。

### ③今後の活用

事業の成果をもとに教育プログラムを再構築し、再就職や就職を望む方、キャリアアップを目指す方を対象とした、同様の講座開催を検討する。

### ④次年度以降における課題・展開

#### ○今後の課題

- ・受講者募集の困難性が高く、思うように受講者を集めることができなかった。
- ・講座への出席者が、回を重ねるごとに減少した。
- ・受講者の特性上、家事や育児等が自宅での学習に影響を及ぼしていることがうかがえた。

#### ○今後の展開

- ・受講者募集については、行政(市区町村、都道府県、文部科学省)や有力企業の協力を得て、講座を周知するための体制作りが必要だと思われる。
- ・受講者アンケートの結果から、パソコンに関する講座の開催へのニーズが多く見られた。また、履歴書や応募書類の記入方法、個別の就職カウンセリングなど就職活動に直結する要望も少なくなかった。これらのことを考慮し、カリキュラムの再構築を図ることも必要かもしれない。

## 3. 事業の実施に関する項目

## ①キャリアアップ講座の実施

「再就職を目指す女性のためのキャリアアップ講座」と銘打ち、基本的なビジネスマナー、基本的なパソコンスキル、ビジネスコミュニケーション・問題解決力、自己アピール・プレゼンテーションを学ぶ内容で4日間（各6時間）の講座を実施した。東京会場は全経会館（東京都豊島区北大塚）、札幌会場は学校法人吉田学園南三条キャンパス（札幌市中央区南3条）、仙台会場は仙台情報ビジネス専門学校（仙台市青葉区本町）にて実施した。

応募人数55名（東京23名、札幌10名、仙台22名）の内訳は、以下の通りである。

- ・ 25歳以下 3名（5%）
- ・ 26～30歳 6名（11%）
- ・ 31～35歳 13名（24%）
- ・ 36～40歳 13名（24%）
- ・ 41～45歳 7名（13%）
- ・ 46～50歳 4名（7%）
- ・ 51～55歳 4名（7%）
- ・ 56歳以上 5名（9%）

託児施設の使用希望者は10名で、東京会場3名、仙台会場7名であった。（札幌会場は希望者なし）

全会場の出席状況は回数を重ねるごとに減少する傾向にあり、第1回が47名（85.5%）であったのが、第4回は33名（60.0%）と、25ポイント減少していた。

受講後に実施したアンケート結果からは、大半の受講者から今後の「役に立つ内容であった」との回答を得ることができ、満足度も高い評価を得たことから、受講者が望む水準を満たす講座を実施できた。

今後、このような講座で取り上げてほしい内容について問うたところ、パソコンに関する講座や簿記に関する講座、就職関連として履歴書や応募書類の記入方法について、再就職に関する体験談などの回答があった。中には、この講座をもう一度受講したいとの声もあった。

## ②その他

東京開催だけではなく就職状況の厳しい地方（札幌、仙台）でも開催することができ、本事業の普及促進の一端を担うことができた。

東京では豊島区の後援を受け、仙台では仙台市の協力を得るなど、地方自治体との協力体制を取り受講者募集活動を行うことができた。また、各地に設置されている厚生労働省管轄のマザーズハローワークやハローワークの協力を得ることができ、対象としていた「再就職を目指す女性」を数多く集めることができた。

講座は、集合学習だけではなく事前学習（自己学習形式）も行い、基本的な実務能力やeラーニングを用いたパソコンスキルの確認を行った。さらに、補完学習として、課題に対する意見交換や再就職に対する情報交換ができるようブログと掲示板を実験的に設け、受講者間でのコミュニケーションが図れるようにした。